



第 102 号 2016 年 9 月 2 日 発行 島田療育センター支援部生活支援室ピコピコルーム  
<http://www.shimada-ryoiku.or.jp/piko/>

今月号は、マジカルトイボックスとわいわい祭りのご紹介をさせていただきます。

## わいわい祭り・ピコピコルーム

いよいよ今月の 10 日にわいわい祭りがやってきます。今年は、ピコピコルームも参加し、お祭りを盛り上げていこうと企画を進めています。催しの概要は、プリクラ・WiiU で太鼓の達人・エアースイマー他、ピコピコルームにあるおもちゃの数々を用意し、楽しみを提供していきたいと考えています。また、情報ボランティアの会・八王子の方々やコーヤシステムデザインの方が趣向を凝らしたイベントを企画しています。皆様のお越しをお待ちしています。（柏木）



情報ボランティアさんの、スイッチで動かす電動水鉄砲の射的！



車椅子ごと乗れる、コーヤシステムデザインさんのマジックカーペット。



ピコピコで人気のエアースイマーには新機種が登場！？

## THE MAGICAL TOY BOX



7 月 16 日、渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターにて THE MAGICAL TOY BOX（マジカルトイボックス）というイベントが開かれました。テーマは「小さな関わりを大きなびっくりへ～ものへ働きかける力の弱い子へエールを送るおもちゃが作りたい～」です。ピコピコ委員からはスタッフ 4 名（支援部、PT、介護福祉士、保育士）が参加しました。

まず私達は元支援学校教諭でおもちゃを製作されている熊谷氏のセミナーを聞きに行きました。市販の電子キット等を利用したおもちゃの紹介や製作のアイデアを中心に話されました。小さな動きを大きな動きに変え、自分では難しい動きを代わりに行うオリジナルおもちゃを披露してくれました。おもちゃを改造するにあたり細かな部品を探し出し、使用者のニーズに沿って製作されており、使用者が喜んでもらえることが前提だが、共に寄り添って遊ぶ事が望ましいと話されました。

次に一般展示に参加しました。各種団体、企業、大学等が参加され改造おもちゃや PC での支援機器の紹介、おもちゃ販売、訓練グッズが並べられピコピコ委員も各展示を見て回りました。手作りおもちゃを製作されている所では、スイッチは何十種類とあり「深さ」「硬さ」「柔らかさ」「音の有無」「クリック感」など、使用者の反応を伺いながら製作することがいかに重要かをお話ししてくれました。他に息を吸う、または吹くとスイッチが入る仕組みのおもちゃやホワイトボードに書いた内容がスイッチを押すと音声として流れる装置もありました。



別の展示では視線だけで会話・文章・作成等が可能な視線入力装置、PC やスマートフォンで世界中どこからでも遠隔操作する事ができるロボットなど先端技術も見ることができました。皆さん共通して、興味を示してもらう→面白い→笑顔につながる、また使用者に喜んでもらえる製作を開発されているのだと感じました。



島田療育センターもピコピコ活動について展示させていただきました。

iPad 各種、WiiU、マグボット、R2D2 等など来場者に活動の様子や機器について説明しました。とくに R2D2 は人気で子どもから大人まで遊んでくれました。そのおかげもあり、足を止めてピコピコの展示を見てくれました。今回、とても有意義な時間を過ごすことができました。ピコピコスタッフに報告し、島田療育センターの皆様にご貢献ができるよう頑張ります。 (宮本)

## ピコピコルームについて

### 島田療育センター 支援部生活支援室 ピコピコルームとは？

「ピコピコルーム」は、島田療育センターの利用者（入所・外来）の皆様方が、パソコンやタブレットなどの IT 機器やスイッチ、ソフトを利用して、興味を拡げたり、遊んだり、コミュニケーションの道具として活用を進めるための部署です。